

<取材のお願い>

2024年9月27日

鳥取大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

タジキスタンの若手研究者が、鳥取と神奈川でサツマイモ栽培技術を学ぶ ～鳥取大学の学生と共に持続可能な環境再生型農業に挑む～

鳥取大学では、10月5日（日）～10月12日（日）、タジキスタン科学アカデミーより大学院生2名、研究者6名、計8名を招へいし、「サツマイモを利活用した〈医食同源〉に繋がる環境再生型農業技術の研究開発と社会実装」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。同アカデミーは1951年に設立された最高度の科学研究機関で、来日するのは、同アカデミー内の植物学・植物生理学・遺伝学研究所に所属する優秀な研究者たちです。

タジキスタンでは、近年の気候変動による干ばつで塩害が激しくなり、耕作可能面積が減少しています。そのような中で干ばつ耐性が高く、やせた土壌でも生育可能なサツマイモの導入・普及による環境再生型農業（土壌を修復・改善しながら自然環境の回復に繋げることを目指す）が重要となっています。サツマイモは栄養素やビタミンが豊富なため、偏った食生活による肥満、心疾患、胃腸障害および、農村部の女性や子供の栄養失調による発育阻害等の問題解決に寄与し、タジキスタン国民の栄養改善に資することが期待されています。

本プログラムの目的は、タジキスタンの研究者が自国でのサツマイモ栽培の導入に向けて、日本の研究や社会実装の取り組みを学び、得られた知見を実際に活用することです。

まず、鳥取大学乾燥地研究センターで、砂丘に端を発した乾燥地農業の研究について学びます。そして、サツマイモ農家（鳥取市）を訪問し、自然環境を生かした取り組みと、ブランド化に向けた加工・販売の工夫を教わります。また、本学大学院生との意見交換では、双方の研究内容の紹介なども行います。さらに、予防医学の観点から腸内フローラ（細菌叢）に着目し、腸内環境改善のために有機農業に従事する医師より医食同源の意義を学びます。10月10日には鳥取大学乾燥地研究センターで成果発表会を行います。

プログラムの終盤は神奈川県に移動し、サツマイモ加工・販売企業（鎌倉市）を訪問し、取り組み内容や経営上の工夫を学びます。

本プログラムにより両国の研究者が交流することで、共同研究の促進および国際的頭脳循環が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外

の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、タジキスタンの研究者が最先端の研究施設を見学する様子、サツマイモ農家を見学する様子、環境再生型農業を体験する様子、成果発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の飯田次郎准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●鳥取大学乾燥地研究センター訪問 ●見学：サツマイモ農家、鳥取県園芸試験場、有機農場、サツマイモ加工・販売企業 ●意見交換 ●成果発表会

【実施場所】 鳥取大学乾燥地研究センター、同大湖山キャンパス、鳥取県内、神奈川県内ほか

【研修日程概要】

10月5日（土）	午後：来日
10月6日（日）	午前：鳥取砂丘見学（鳥取市） 午後：城原海岸見学（同上）
10月7日（月）	午前：鳥取大学乾燥地研究センター訪問、オリエンテーション、施設見学（鳥取市） 午後：教員や学生との意見交換（相互の研究発表）（鳥取大学乾燥地研究センター）
10月8日（火）	午前：サツマイモ農家見学（とっとり干し芋の里 影井俊一郎氏）（鳥取市） 午後：教員や学生との意見交換（相互の研究発表）（鳥取大学湖山キャンパス）
10月9日（水）	午前：鳥取県園芸試験場見学（境港市） 午後：有機農場見学。tenrai（株）桐村里紗氏（東京大学研究員・医師）（米子市）
10月10日（木）	午前：成果レポート準備 午後：成果発表会、修了式
10月11日（金）	午前：神奈川県藤沢市に移動 午後：鎌倉市に到着サツマイモ加工・販売企業訪問（Farm.Sweets@鎌倉 久世直樹氏他）（鎌倉市）
10月12日（土）	午前：高德院など日本の伝統文化の視察（鎌倉市） 午後：羽田空港に移動、離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

鳥取大学 国際乾燥地研究教育機構
（担当：飯田 次郎）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：太田）